

令和3年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終

呉市立昭和中学校区 校番 17 学校名 呉市立昭和中学校

a 学校教育目標	自ら伸びる みんなで伸びる	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション> 夢を実現するために、主体的に学ぶ意欲を持ち、地域社会に貢献する人材の育成 <ビジョン> ①生徒の「生きる力」が育つ学校 ②生徒が安心して主体的に学び合い、学力が身につく学校 ③心を潤すことが自然に行き交い、社会性が高まる学校 ④地域・保護者から信頼される学校
----------	---------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	昨年度は、感染症の感染拡大防止を踏まえ、「学校の新しい生活様式」をはじめとする根拠や基準等に基づく感染症対策の徹底を図り、生徒や教職員の命や健康を守ることを最優先として生徒の学びの保証に取り組んだ。 学力向上については、呉市が進める「考える授業づくり」や新学習指導要領の全面実施を見据えた研究も十分なものはできなかったことから、引き続き授業改善を軸として、目指す資質・能力の育成を図る中で基礎学力の定着や家庭学習の習慣化に取り組む必要がある。生徒指導については、生徒の自主的・主体的な取組が制限される中で、学校生活への適応や良好な人間関係の構築が難しい生徒も増えてきたことから、より丁寧な生徒理解に努める中で、生徒一人一人の自尊感情や社会性等を育成するとともに、将来への展望や目標を持たせ、自らの進路を切り開く力を身に付けさせることが求められる。また、「働き方改革」の推進については、感染症対策に係る業務の負担や心身の健康バランスを保つことが難しい状況も生じたが、「チーム『笑輪』」の協働体制を基に、教職員のモチベーションの維持や業務の効率化に向けた取組を検討し、改善に取り組むことができた。 今年度は、学校体制による組織的・計画的な取組を推進するとともに、ICTの効果的な活用を研究・実践し、令和3年度「呉市小中一貫教育研究指定校」の指定を好機として、引き続き「考える授業づくり」や「防災教育の充実」、「働き方改革の推進」に取り組む。一人一人の生徒が安心して自らの学びを深め、教職員とともに互いに磨き合い、未来を創る力を備えた生徒の育成に取り組む。
------------------------------	---

育成すべき資質・能力	「知識・技能」 「思考力・判断力・表現力」 「主体性・協働する力」
------------	-----------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・③年目)					自己評価						
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成度	j 達成度	k 評価	i 達成度	j 達成度	k 評価
★★★	学力の向上を図る。	【一貫】(授業づくり) 継続的な授業改善に取り組み「考える授業づくり」を推進する。 基礎・基本の定着や個に応じた指導の充実を図る。 生徒の実態に応じた学習習慣の定着を図る。	「聴いて考えてつなげる授業」モデルの授業スタイルの定着と授業研究を行う。 学力調査等の結果を踏まえた基礎・基本のドリル学習や個に応じた課題学習を行う。 予習・復習の充実や教科等に応じた課題設定を工夫する。	生徒アンケート「授業中友だちの考えや意見をよく聴いています」の肯定的評価の割合	95%						
				生徒アンケート「授業中、自分の考えや意見を分かりやすく説明しようとしています」の肯定的評価の割合	80%						
				定期試験における「30%未満」の生徒の割合	10%以下						
★★	中学生としての自覚と責任を持たせる。	【一貫】(居場所づくり) 生徒同士の共感的な人間関係づくりを推進し、自尊感情を育成する。 「授業規則やりきる四則」を徹底し、中学生としての規範意識の向上を図る。 身回りの整理・整頓に努めさせ、落ち着いた学習環境づくりの統一化を図る。	規律ある学校生活の確立に向けて、登校から下校までの時間を意識させ行動化を図る。 中学生としての自覚を持たせ、服装や髪型等の身だしなみを整えさせる。 身の回りの整理・整頓に努めさせ、落ち着いた学習環境づくりの統一化を図る。	生徒アンケート「授業中友だちの考えや意見をよく聴いています」の肯定的評価の割合	100%						
				保護者アンケート「お子様は時間を守って生活している」の肯定的評価の割合	95%						
				生徒アンケート「服装や髪型等、ルールを守っています」の肯定的評価の割合	100%						
★	豊かな感性や社会性を育む。	【一貫】(居場所づくり) 生徒同士の共感的な人間関係づくりを推進し、自尊感情を育成する。 生徒相互の人間関係や居場所づくりを進める学級経営や教育相談活動を推進する。	集団や学校への所属感や達成感を高める学校行事や部活動指導を充実させる。 生徒アンケート「部活動は充実しています」の肯定的評価の割合	生徒アンケート「体育大会・文化発表会などの学校行事は充実しています」の肯定的評価の割合	100%						
				保護者アンケート「昭和中の学校行事は生徒にとって充実したものである」の肯定的評価の割合	95%						
				保護者アンケート「昭和中は部活動に積極的に取り組んでいる」の肯定的評価の割合	90%						
		学校や地域、社会に貢献しようとする意欲と態度を育成する。	生徒の自己有用感や社会性を育む生徒会活動やボランティア活動、小中交流の取組を推進する。	生徒アンケート「学校生活は楽しいです」の肯定的評価の割合	95%						
				生徒アンケート「あなたのよいところを分かってくれる友だちがいます」の肯定的評価の割合	95%						
				生徒アンケート「自分にはよいところがあります」の肯定的評価の割合	90%						
業務改善	働きやすく働きたいのある職場づくりを推進する。	生徒と向き合う時間を確保する。 長時間勤務の削減に取り組む。	【部活動休養日】を活用した学年・分掌会等の会議や職員研修の効率化、及び職場環境の整備を図る。 毎週(水曜日)の「定時退校日」の励行や「一斉閉庁期間」等を活用し、教職員のワークライフバランスを推進する。	教職員アンケート「生徒と向き合える時間が確保されている」の肯定的評価の割合	80%						
				時間外在校等時間が原則年360時間以内及び月45時間を超えない教職員の割合	100%						

[k:評価]A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60